

理事会議事録 平成19年度第1回理事会 平成19年4月20日

1、開催時期：平成19年4月20日15:00～17:00

1、開催場所：秋田県学習生涯センター ジョイナス

1、当技師会理事数 25名

参加理事：菅原博之、藤田美好、阿部敦、宮野勇徳、三浦徹、奈良悦子、岸谷幸栄
赤石良子、川上登、伊藤功、伊藤良子、安倍真理子、伊藤優子、佐藤寛
田中喜美子、渡部晃、高橋稔、榊田由美子、中川聡、菊地孝哉、20名
欠席（委任状提出）理事：畠山義彦、伊藤優子、鈴木睦子、遠藤正志、高橋和則
5名

参加理事20名、委任状提出理事5名、計25名で総理事数の過半数を超えており
今回の理事会は成立した。

1、書記：渡部晃、高橋稔

1、議事録署名人：宮野勇徳、佐藤寛

1、議事内容：菅原会長が議長となり、資料に沿って各担当者より内容の説明を受けながら審議された。以下に審議内容・決定事項を示す。

議 事 議長 菅原会長

<書記の選出>

- ・ 書記は、中央 県北 県南 由利の順で行なわれており、今回は県南より渡部晃
高橋稔が選出された。

<議事録署名人の選出>

- ・ 宮野勇徳、佐藤寛の2名が選出された。

<常務理事（学術担当） 会計の選任>

- ・ 常務理事（学術担当）は、三浦徹
- ・ 会計に、収入担当 菊地孝哉 支出担当 高橋和則が担当となった。

<学術部門長会議の報告>

- ・ 平成19年度議案書（案）学術研修会の内容について報告された。

議案書(案)には検査管理部門および輸血移植検査部門の内容が記述されていないが、総会当日までに報告されるということであった。

- ・ 研修会等については、11 月頃に集中してしまうため、時期をずらして集中しないようにしたいと提案された。

<平成19年度～20年度の副会長、理事の役割分担について>

- ・ 藤田美好副会長 総務・学術担当
- ・ 阿部敦副会長 地域保険活動事業担当
- ・ 畠山義彦副会長 組織調査・厚生担当

1) 各支部事業として、各支部の支部長を選出した。

- ・ 県北支部 赤石良子 ・中央支部 佐藤寛 ・由利支部 遠藤正志
- 県南支部については未定である為、5月26日までに決める。

2) 事務局（常務理事）宮野勇徳 ホームページ管理 伊藤良子、事務処理 泉谷事務員
会計 菊地孝哉、高橋和則

3) 総務部担当 藤田美好副会長が兼務。

総会に関して今まで事務局が行なってきたが、年 2 回行なわれる総会の開催、総会議案書作成を手伝うこと。いままでの雛型ではなく、他県の議案書など参考にして新しい雛型で議案書を製作していただきたい。

担当は、川上登、伊藤優子、佐藤寛、中川聡の4名でお願いします。

4) 学術(常務理事)担当 三浦徹 学術研究事業について各部門長の下で活動する。

精度管理保証制度については、精度管理委員会・臨床検査データ共有化委員会で進められる。今回の理事は、この 2 つの委員会いずれかに振り分けられており、この中でも活動していただきます。

5) 地域保健活動事業担当 阿部敦副会長

健康と臨床検査展の内容については昨年の反省を基に今年の内容を考える。

他に県委託事業（大腸がん・肺がん・子宮がん）や地域保健活動における他団体との共催・協力などを行なう。

6) 組織調査・厚生担当 畠山義彦副会長

福利厚生事業・新人教育研修・中堅技師セミナー・小規模検査室研修などを行なう。

- ・ 精度管理委員会について、今までは理事会とは少しかけ離れた存在に思われてきた。常に同じ担当者で行なわれてきたことに対しても、今後のことを考えると困る。データの共有化等も関係するため、理事からも所属委員会に入り参加して頂きたい。会計や、データ解析作業、事業計画の作成など理事の仕事として願います。
- ・ 共有化委員会については、三浦学術部長が全国共有化委員会に参加する。ここで新たな情報や今後の活動について説明がされる。これは技師会として動いているわけではなかったが、技師会の委員会として事業を行なうという意識づけが必要と思われる。事業計画などの下地を作っているので協力する。
- ・ 公益法人検討委員会については、畠山福会長が担当する。公益法人化の申請についてどのような問題があるかなどを検討する。また、一般の社団法人ではどうか？などの内容で期限を決めて検討する。

(質疑・応答など)

佐藤寛氏より

支部事業において、支部総会と書かれているが中央では総会が行なわれていないようですが。

議 長

他の支部においては、総会が行なわれています。

佐藤寛氏

その予算については？

議 長

支部 3 万円となっている。ただし、これからの協議事項として 4 万円としたほうがよいのではないかという意見も出ている。

渡部晃

健康と臨床検査展の開催日について。

議 長

今年の健康と臨床検査展は 12 月 16 日アルヴェで開催される。

- ・ 総会議案書などに県技師会のトレードマークを入れるように提案された。
- ・ 何か事業があるときには、大まかな内容や予算的問題などあるので事業計画書を提出すること。

- ・ 事務所について、今まで月・水・金曜日の午後 1 時から 5 時まで事務員が対応し、それ以外は金田前事務局長に転送されていたが、これからは連絡がつかないため、メールなどで連絡を取り合うこと。

<平成 18 年度事業について 総会議案書（案）の内容>

- 1) 平成 18 年度会務報告
- 2) 平成 18 年度事業報告
- 3) 平成 18 年度決算報告
- 4) 平成 18 年度決算監査報告
- 5) 学術部門決算
- 6) 精度管理委員会決算報告
- 7) 検査データ標準化部会決算報告

以上のことについて議案書（案）の内容について検討した。

不備な点などについては、総会までに修正する。

なお、当日の特別公演は緩和ケアについて予定している。

<事務連絡>

- ・ 秋臨技だよりは何度内 3 回発行する。4 月に発行されたものに関しては前年度分として、これから 3 回発行する。
- ・ 理事のメールを連絡用に使用するため、ファックスでメールアドレスを事務局まで送ること。
- ・ 各支部長へ、青森県技師会より研修会参加の要請があった。
(6 月 9 日 病院感染とその対策について)

社団法人 秋田県臨床衛生検査技師会

書 記	渡部 晃
議事録署名人	宮野 勇徳
議事録署名人	佐藤 寛